

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院脳神経外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。なお参加しない場合孫札上不利益を被ることはございません。

[研究課題名]

脳神経外科領域における3D プリントモデルの有用性に関する後方視的検討

[研究の背景と目的]

外科手術では術前のイメージ作りが非常に重要であり、これを補う目的で3D プリンターを用いて作成した実寸大の模型が様々な分野で使われています。しかし現状は外部の業者に依頼して製作しているため非常に時間とコストがかかり、緊急手術などへの対応が困難となっています。今回私たちは家庭用のデスクトップ3D プリンターを使用し脳神経外科の手術検討用の模型を作成、時間短縮と精度が実用に耐えうるものかを検討する研究をすることに致しました。

[研究の方法]

対象となる方

当院脳神経外科の患者さんで、2018年12月1日から2020年7月15日の間に手術を受けた方の中で術前検討で模型を作成した方。

研究期間

倫理審査承認日から2022年12月31日

利用する検体やカルテ情報

手術前に撮影したCT、MRI、脳血管撮影を使用します。この研究のために追加で行う検査はございません。カルテ情報は年齢、性別、術後の状態(意識状態、麻痺などの神経学的所見、退院時神経学的状態(mRS))を使用します。

検体や情報の管理

個人情報(匿名化)、対応表は別途保管します。作成した模型は施錠できるキャビネットの中で管理致します。データは外部と接続の無い研究に携わる脳神経外科のスタッフのみ

がアクセスできる PC にて厳重に管理致します。

[研究組織]

研究代表者:東京医科大学病院 脳神経外科 永井 健太

分担研究者:

東京医科大学病院 脳神経外科 橋本 孝朗 深見 真二郎 田中 悠二郎
一桒 倫生 松島 健 新井 佑輔

東京医科大学八王子医療センター 横山 智哉

[個人情報の取扱い]

作成した模型は施錠できるキャビネットの中で管理致します。データは匿名化し外部と接続の無い脳神経外科の PC にて管理致します。

[問い合わせ先]

東京医科大学 脳神経外科学分野 助教 永井 健太
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1
TEL 03-3342-6111 (内線 7553) e-mail: nsurg-pt@tokyo-med.ac.jp
平日午前 9 時から午後 4 時まで